



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ASL09 富士エステート株式会社 様邸新築工事	階数	地上9F
建設地	神奈川県横浜市港北区新横浜一丁目6番2	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 竣工	評価の実施日	2021年11月9日
敷地面積	500 m ²	作成者	橋本 拓哉
建築面積	319 m ²	確認日	2021年11月22日
延床面積	2,593 m ²	確認者	田中喜美子

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 89%
④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.3

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	2.0% ≤ [昼光率]	Q2 サービス性能 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし。
LR1 エネルギー	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。	LR2 資源・マテリアル ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。
		LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率89%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	建物名称 ASL09 富士エステート株式会社 様邸新築工事
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点)	【省エネルギー性能】 5
■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示) この建物の設計一次エネルギー消費量 23 %削減 	
一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合
受付日	2021年12月1日
■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用) ①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である。 ③BEI=0.77。	
健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点)	【健康・安心】 3
■室内環境対策 (⑤外皮性能) ◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による	
■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)	
■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など) ◆工夫の有無 なし	
防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点)	【防災】 3
■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性) ⑯給水_HIVP(B)、給湯_架橋ポリエチレン管(C)、排水_VP(B)、Eは不使用。	
地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点)	【地域・まちづくり】 1
■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)	
太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
_____	_____
エネルギーマネジメントシステム導入	_____
_____	_____



CASBEE横浜2017年版v.1.4

ASL09 富士エース株式会社 横邸新築工事

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境									3.2
1 音環境				3.0	0.15	3.0	1.00		3.0
1.1 騒音				3.0	0.50	3.0	0.50		-
1.2 遮音				3.0	0.50	3.0	0.50		-
1.2.1 開口部遮音性能				3.0	1.00	3.0	0.30		-
1.2.2 界壁遮音性能				-	-	3.0	0.30		-
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20		-
1.3 吸音				-	-	-	-		-
2 温熱環境				1.0	0.35	4.0	1.00		3.3
2.1 室温制御				1.0	1.00	4.0	1.00		-
2.1.1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-		-
2.1.2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	1.00	4.0	1.00		-
2.1.3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-		-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-		-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境	-	-	-	-		-
3 光・視環境				2.0	0.25	3.3	1.00		3.0
3.1 屋光利用				1.8	0.30	4.0	0.30		-
3.1.1 屋光率	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	0.60	5.0	0.50		-
3.1.2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境	-	-	3.0	0.30		-
3.1.3 屋光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20		-
3.2 グレア対策				1.0	0.30	3.0	0.30		-
3.2.1 屋光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	1.0	1.00	3.0	1.00		-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15		-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25		-
4 空気質環境				3.6	0.25	3.6	1.00		3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		-
4.1.1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00		-
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38		-
4.2.1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-
4.2.2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33		-
4.2.3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33		-
4.3 運用管理				-	-	-	-		-
4.3.1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-		-
4.3.2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気質環境	-	-	-	-		-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.8
1 機能性				2.2	0.40	2.6	1.00		2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		-
1.1.1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-		-
1.1.2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	1.00		-
1.1.3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	1.00	-	-		-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		-
1.2.1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	3.0	0.50		-
1.2.2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性	-	-	-	-		-
1.2.3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50		-
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-		-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性	3.0	0.50	-	-		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性	2.0	0.50	-	-		-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-		2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-		-
2.1.1 耐震性	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-		-
2.1.2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-		-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-		-
2.2.1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-		-
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.10	-	-		-
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-		-
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-		-
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-		-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-		-
2.4.1 空調・換気設備	防災		⑯信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.2 給排水・衛生設備	防災		⑯信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.3 電気設備	防災		⑯信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.4 機械・配管支持方法	防災		⑯信頼性	3.0	0.20	-	-		-
2.4.5 通信・情報設備	防災		⑯信頼性	2.0	0.20	-	-		-
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.0	1.00		3.0
3.1 空間のゆとり				-	-	3.0	0.50		-
3.1.1 階高のゆとり				-	-	3.0	0.60		-
3.1.2 空間の形状・自由さ				-	-	3.0	0.40		-
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50		-
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-		-
3.3.1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-		-
3.3.3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-		-
3.3.5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-		-

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 3-099



CASBEE横浜2017年版v.1.4

ASL09 富士エーステート株式会社 様邸新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-		



CASBEE横浜2017年版v.1.4

ASL09 富士エース株式会社 様邸新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0		
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4		
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0		
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-		
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7		
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2		
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無				-	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6		
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.7	0.20	-	-	3.7		
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-		
1 消火剤				-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	1.00	-	-	-		
3 冷媒				-	-	-	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1		
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4		
2 地域環境への配慮				2.9	0.33	-	-	2.9		
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-		
2 振動				-	-	-	-	-		
3 悪臭				-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目				-	-	-	-	-		
<事務用途>				-	-	-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-	-	-		
健康と安心				-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑭健康対策		3.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心	⑭健康対策		3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑭健康対策		3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑮防犯対策		1.0	-	-	-	-		

受付番号 3-099

建物名称 ASL09富士エステート株式会社様邸新築工事

この建物は建築物環境配慮計画の届出を行っています。



横浜市環境性能表示の
解説はこちら



◆この表示は、横浜市の基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。

※このラミネートフィルムは再生PETを使用しています